事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部長寿介護課			■担当	í係	包括支援係	
■評価事業名称	認知症総合支援事業						
■事業開始年度	平成28年度						
■評価事業コード	043100 - 335 ■会計区分 介護保険特別会計(保険))		
	■政策 01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり						
■総合計画での ■位 置 づ け	■基本施策 02 高齢者や障がい者などの自立した生活への支援						
	■施策	01 介護予防の推進と介護サービスの充実					
■事業の類型	05 ソフト事業(任意) ■政策・業務区分 政策						
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの						
■法令等の名称							
■関連計画の名称							
■事 業 の目的と概要	認知症の初期の段階から適切な診断と対応、認知症に対する正しい知識と理解に基づく本人や家族への支援を通して、地域単位での総合的かつ継続的な支援体制を確立しようとするもの。認知症初期集中支援チームの構築。						

2. 細事業の活動実績情報

細事業 細事業 コード 名称	事業の対象	平成 28 年度事業計画	平成 28 年度事業量実績		
01 認知症総合 支援事業		·認知症施策研究会(WG)10回開催 ·先進地視察2回	・認知症施策研究会 18回開催・グループホーム・認知症地域支援推進員意見交換会 2回開催・認知症医療介護連携講演会1回開催・認知症ケアカフェ 8回開催		

3. 投入コスト情報 (単位:千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
直接事業費				206	
人 件 費				4,130	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				4,336	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	指標の説明
01 認知	印症ケアカフェ開催回数				80	

問題点·課題等

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

-■目標達成状況 -

達成状況の分析

■目標達成状況A. 順調B. 概ね順調C. 遅れている	認知症の市民とそのカフェを定期的に開 あがっている。	の家族の相談の場として 引催できたので、活動の成	果は	認知症の人を早期に専門医に結びつける認知症初期集中支援チームを編成したり、ケアマネや診療所の医師を専門医に結びつける仕組みは検討中で、成果指標設定までいきついていない状況である。
□1. 直接的な受益者の範囲 ─○ 不特定多数に及ぶ○ 特定されるが多数に及ぶ○ 特定少数に限定される	○ ある程度(の影響 利益やリスクが生じる の不利益やリスクが生じる ウリスクは小さい		-3. 国・県・民間との競合関係の有無 ─● 類似の事業はない● 類似の事業はあるが競合はない● 類似の事業があり競合する
4. 事業へのニーズの変化● ニーズが高まっている○ ニーズは変わらない○ ニーズが低下している又は	•	施策の改善需要度(市民) 順位が高い) 順位が中程度) 順位が低い	意識調₫	査) — 6. 施策の優先度(市民意識調査) — ● 順位が高い ● 順位が中程度 ● 順位が低い
一7. 他市町村に比較しての優位○ 先進的またはユニークな事⑥ 他と同程度の事業である○ 遅れている事業である	業である ● B○ B	施主体の代替性 民間委託等の拡充は難し 民間委託等の拡充が十分 全部委託や実施主体の移	に可能	9. 経済性・効率性の向上 今以上の効率化や改善は難しい 効率化や改善を図ることは十分に可能 効率化や改善の余地が大きい
■事業の見直し方策(評価項目2 高齢者の増加とともに、認知症ので、それに備えるための当該事業	高齢者も増加すると	見込まれるの	今後の方)Ⅰ. 拡)Ⅱ. 継	5充 ○ Ⅳ. 廃止・休止

○ Ⅲ. 縮小